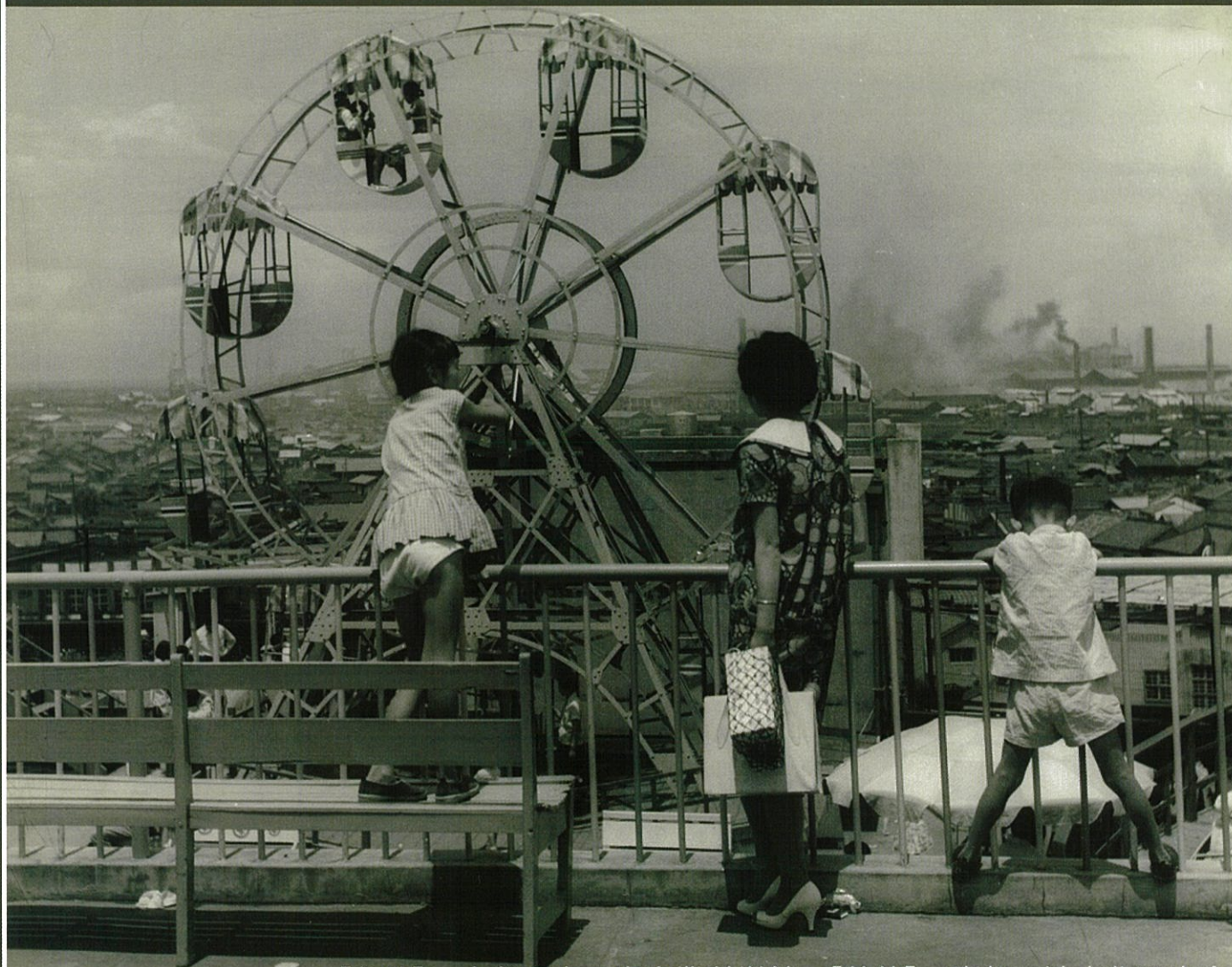


—炭都三池が生んだ文化展—

# 炭都の暮らしと文化

昭和30年代の三池・大牟田



【主催】 大牟田市石炭産業科学館 【共催】 炭都三池文化研究会

## 【会期】

令和3年 5月29日(土)～7月4日(日)  
9:30～17:00 ※毎週月曜休館

## 【会場】

大牟田市石炭産業科学館 企画展示室

## 【観覧料】

無料 ※別に常設展示室観覧のときは、観覧料が必要です。

会期中の  
主なイベント

## オープニングイベント

～朗読とハーモニカ演奏～

5月29日(土) 14時～15時

『杜宅ぐらしのきんこちゃん』(作:山口貴美子、朗読:田中昭子)

『海底の紙ひこうき』(作・朗読:東川絹子)

ハーモニカ(演奏:西川義夫)

## 展示担当者によるギャラリー解説

期間中の毎週日曜日

10時～12時、14時～16時

大牟田市  
石炭産業科学館  
OMUTA COAL INDUSTRY AND SCIENCE MUSEUM

〒836-0037 福岡県大牟田市岬町6-23  
TEL:0944-53-2377 FAX:0944-53-2340  
URL:<http://www.sekitan-omuta.jp/>



S. 37 大牟田市役所

三池炭鉱があった炭都大牟田・荒尾には、炭鉱や関連産業で働く多くの労働者や家族が集まり、周辺地域や他の都市とは異なる独特の文化が生まれました。

それは美術や文学だけでなく、演劇・映画・写真・音楽・漫画・食など大衆文化や娯楽にまで広がっています。

平成28年春、三池炭鉱閉山20年を節目に大阪で「炭鉱の記憶と関西-三池炭鉱閉山20年展」が開催されました。

その中の〈炭都と文化〉のコーナーに展示されたものをもとに今回あらたな資料や作品も集めました。炭都の懐かしい文化に触れて、昭和にタイムスリップしてはいかがでしょうか。

主な展示内容

- ・市民文化のシンボル 大牟田松屋
- ・大牟田の映画館と映画監督 森崎東
- ・社宅周辺の貸本屋と大牟田が生んだ漫画家
- ・文学者と三池炭鉱
- ・三池炭鉱と美術
- ・社宅の暮らし
- ・炭都の音楽・演劇



S. 38 グランドシネマ



『海底の紙ひこうき』



『社宅ぐらしのきんこちゃん』

オープニング・イベント～朗読とハーモニカ演奏～  
5月29日(土) 14時～15時

昭和30年代の大牟田の暮らしを綴ったエッセイと絵本の朗読と、「炭掘る仲間」を含むハーモニカの演奏を行います。

『社宅ぐらしのきんこちゃん』(作: 山口貴美子、朗読: 田中昭子)

『海底の紙ひこうき』(作・朗読: 東川絹子)

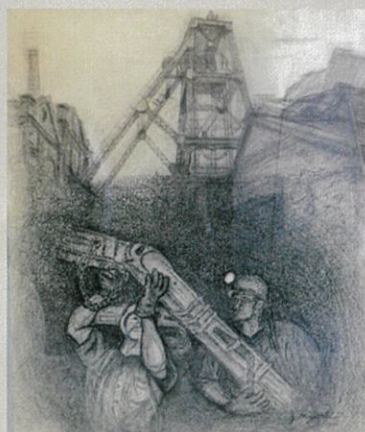
ハーモニカ(演奏: 西川義夫)

ギャラリー解説「炭都の暮らしと文化」

開催期間中の毎週日曜日 10時～12時、14時～16時

各ジャンルの展示担当者によるギャラリー解説があります。

※詳細は当館ホームページ、またはお電話にてお問い合わせください。



宮脇好光・作



石炭館ホームページ

交通案内



- 新大牟田駅より タクシー 約20分
- 大牟田駅西口より  
徒歩 30分  
タクシー 8分  
バス イオンモール行 終点下車 徒歩8分  
帝京大学福岡キャンパス行 終点下車 徒歩3分  
レンタル自転車 15分  
駅東口前の観光プラザおよび、  
駅西口西鉄大牟田駅で取り扱っています
- 九州自動車道 南関ICから 自動車約25分
- 長洲港より 自動車約30分
- 無料駐車場あり(30台)



石炭館 交通アクセス

